

## ネイチャーカンジキ普及事業

### 取組に至る背景・事業の目的

山ノ内町などで昔から伝承されてきた雪上歩行用具のカンジキを、自然体験、環境教育用に「ネイチャーカンジキ」（雪踏み用と山岳用の中間タイプ）として改良。

志賀高原、北志賀高原周辺スノーエリアを訪れる修学旅行の生徒、観光客などに雪の森での自然観察会や、トレッキングなどの機会に活用し、山ノ内町の自然環境の素晴らしさを伝える。

### 事業内容

- ネイチャーカンジキは里用と山用の中間タイプであり、歩きやすく急斜面にも対応できる。市販されているものではないことから、制作実習講座を行った。
- スキー以外のスノーエリアの楽しみ方の講座を山ノ内町、中野市で4回開催
- ネイチャーカンジキを、安全な雪上体験プログラムとして提供するために制作、指導のガイドの養成・認定を行った。
- 取組みを冊子にまとめ、関係機関に配布した。



【ネイチャーカンジキ体験ツアー】

### 事業効果

- 冊子の制作でネイチャーカンジキの体系的な利用方法が確立できた。
- スノーシューに比べてカンジキは地場産品の要素が強く、地域性をアピールできた。
- ネイチャーカンジキ養成講座受講者のうちガイド24名を認定した。
- 一定のレベルに達したガイドを認定することで、体験学習指導のレベルが向上した。
- スキー修学旅行のプログラムでネイチャーカンジキ体験を実施。特にスキーをしない生徒のためのプログラムとして効果的であった。
- ガイドの雪体験指導対象者数は約1,200名と、当初の予想を大きく上回った。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 雪国の生活の知恵でもあるカンジキを紹介することで、雪国文化の伝統を継承していきたい。
- 今回改良した「ネイチャーカンジキ」は自然体験するための道具であるとともに、山岳遭難時や積雪期の大地震災害などで交通網が遮断した時等の危機管理用品としても重要な側面があることから、多雪地での普及を進めていきたい。
- スキー修学旅行のプログラム、特にスキーが苦手な生徒向けのメニューとして学校等に情報提供していきたい。

#### 【選定のポイント】

地域に古くから伝わるカンジキを現代風に改良した「ネイチャーカンジキ」の普及を図るため、制作・体験・指導者養成の3つの視点から講座を開催した。

本事業は単なる体験イベントにとどまらず、制作マニュアルの作成やガイド24名の認定など、普及させるための取組みが同時に行われており、ウインターシーズンの新たな雪の楽しみ方として修学旅行等への普及も期待できる。

団体名 NPO 法人よませ自然学校（山ノ内町）  
 連絡先 090-88328-9249  
 ホームページ、メールアドレス  
<http://www4.plala.or.jp/yomase/index.html>

事業タイプ ソフト事業  
 事業費 532,415円  
 支援金額 459,000円